

中京女子大学

同窓会ニュース

1988・10・1 No.9

■発行 中京女子大学同窓会

〒474 愛知県大府市横根町名高山55
TEL.0562-46-1291

目次	次
総会報告.....1	ブロンズ像寄付ご芳名簿.....6
新会員を迎えて.....1	近況報告.....9
会長ごあいさつ.....2	支部会活動状況.....10
中京女子大学の近況.....3	梨花大学親善訪問を祝って.....11
モニュメント.....4	公開講座紹介.....12

第8回同窓会総会日程のお知らせ

第8回中京女子大学同窓会総会日程が決まりました。今回の総会は、スポーツサイエンスセンター、並びに「健康の女神」ブロンズ像を皆さまの目でご覧いただきたく、大学内に於いて開催することにいたしました。当日は、谷岡郁子学長先生をお迎えし、ご講演を賜わります。また、愛知ジャズ体操連盟会長西川和子（短体40年卒）さんのご協力をいただき、アトラクションも準備しておりますので大勢のご参加を願っております。

日時 昭和63年11月20日（日曜日）
AM 11:00～PM 3:00

場所 中京女子大学
スポーツサイエンスセンター

会費 3,000円 立食パーティー

交通案内 JR大府駅下車

スクールバス JR大府駅前集合10時35分出発

九州同窓会支部会準備委員会 発足の機運

各地での支部会が意欲的に発足しているなかで
63年8月鹿児島県で同窓会支部会の話が持ちあ

がっております。九州各県に在住の卒業生の皆さま、良き機会です。ぜひ下記にご連絡下さい。

発起人 児島 文（家体専11年卒）
内山美佐子（家体専15年卒）

連絡先

〒893-23

鹿児島県肝属郡大根占町馬場1125-9

木下田鶴子（短体40年卒）

TEL 09804-2066

新 会 員 を 迎 え て

昭和61年度新会員数		昭和62年度新会員数	
体育学部・ 体育学科	104名	体育学部・ 体育学科	109名
家政学部・ 児童学科	77名	家政学部・ 児童学科	72名
家政学部・ 食品・栄養学科	22名	家政学部・ 食品・栄養学科	20名
短期大学部・ 体育学科	108名	短期大学部・ 体育学科	104名
短期大学部・ 家政学科	51名	短期大学部・ 家政学科	78名
合 計	362名	合 計	383名

（昭和61年3月21日付）

（昭和62年3月21日付）



ごあいさつ

中京女子大学同窓会

会長 高橋 知予子

遅かった夏も足早やに通りすぎ、秋風の心地よい頃となつてまいりました。同窓の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。2年毎の、中京女子大学同窓会総会も8回目を迎えようとしております。内外のめまぐるしい世相をよそに、月日は淡々と流れております。大学におかれましても、幾多の難関を乗り越え、80数余年の歴史ある私学の名門として、ゆるぎない地位を築きつつあります。皆様もご承知のように、すばらしいスポーツサイエンスセンターにおいては、次々と国際交流が行なわれております。特に特筆すべきは、韓国の名門梨花女子大学とのバスケットボールの親善試合が行なわれたことです。また、日本女子体育大学の前田充明理事長からも、ことのほかおほめをいただきました。このような、すばらしい施設設備の整った中から、自立心あるよき女子指導者が巣立ってほしいと願っております。また、9月15日～21日まで期間中ソウル・オリンピック日韓親善国際交流セミナーが実施され、一万トン級豪華高速客船ニューゆうとびあ号での韓国訪問の

大移動であり、またこの機会に、卒業生の有志もご参加され、学長先生をはじめ、教職員、大勢の学生のみなさまがたとの交流の機会を与えて下さったことは、大学を色々な立場で理解でき、また相互の親睦の良い機会となりましょう。

私たち同窓生も、常に国際的視野にたつて、魅力ある女性をめざし自己を磨き日々研鑽に心掛け母校にはじない女性道を歩みたいと願います。

昨年は皆様のご協力により、『健康の女神』のブロンズ像を寄贈させていただきました。ご厚情に深く感謝しお礼申し上げます。

終りになりましたが、同窓会も昭和53年発足、10年の歳月を経過いたしました。基本的な同窓生の皆さまの住所録が完成に至っておりません。そのためにも、各地域で次々と支部会が積極的に発足されますことは、本部といたしまして、何よりも励みになります。このことも重ねてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今後増々の母校の発展と同窓会の皆様のご健康とご活躍を心からお祈りいたします。



中京女子大学の近況

中京女子大学・同短期大学部

学 長 谷 岡 郁 子

早いもので、今年も3分の2以上が過ぎ、カレンダーの枚数も残り少なくなってまいりましたが、同窓生の皆様には、お褒りなく、お元気で過ごしてでしょうか。中京女子大学では、来たる9月15日から「ソウル・オリンピック日韓親善国際交流セミナー」に向け、準備に大忙しの毎日を送っております。今回のソウル・オリンピックの出場選手は、本学の学生が含まれておりませんが、ハンドボール（男子）チームのコーチとして、体育学科の増講師が参加いたします。学生の参加のないことは、往年の中京女子大学の栄光を考えますと、寂しい思いがいたします。しかし、一方では、お隣の韓国で開かれるオリンピックに、是非、できるだけ多くの者が行こうではないか、そしてある意味の「参加」をしようではないかということで、セミナー・ツアーが計画され、学生・教職員を始め、同窓生や日頃中京女子大学を応援して下さる多くの方々参加を得ることとなりました。

今回のセミナーの意義には多くのことが考えられますが、日本という狭い範囲の中だけで物事を考えるのではなく、アジア人としての視野を広げること、オリンピックという人類の祭典に参加して、みることによって、近代オリンピックの意義や国際平和について、各自が考えてみる機会になれば幸いです。今ひとつ、それ以上に私が重要だと思っていることがあります。それは、今回のセミナーが、実に多くの人々の努力の結晶であるということです。総勢数百名で1万トン級の船を全船チャーターしてしまうという大規模なツアーであり、近いとはいえ、オリンピック期間中に海外に出かけることから、その計画の為に費

されたエネルギーは膨大なもので、誰かがどこかで特別任務としてひきうけるというようなことは、とても無理です。いわば、全教職員が、日常の勤務以外に多くのエネルギーと、初めて経験する多くの問題に対応せねばならないということに直面いたしました。私達は、半年以上に亘って試行錯誤を繰り返しながら、この課題に取り組んでまいりました。時には不安になったこともありました。出発を真近に控え私は考え得る全てのことは準備できたと思っております。そして苦勞に苦勞を重ねた結果、教職員の結束は強まり、各自の新しい能力が開発されたと思っております。

18歳人口の減少が叫ばれるようになって、大学は厳しい生存競争の時代を目前に、私達は、今避けることのできない時代の挑戦を正面から受けて立たねばなりません。このような時代に、日々の仕事をつつがなくこなしているだけでは、生き残ることはできません。これには大学として新しい方向を打ち出す能力とそれを実現する機動力が求められます。そのためにも、このセミナーをやり抜いた力こそ新しい時代に対応するだけの力が組織に蓄えられると秘かに思っております。帰国後は全員が「中京女子大学丸」に乗り合わせた仲間としてのアイデンティティを持っていることとします。そしてこの船の乗組員として新しい時代に向け船出する力と意欲を持っているものと期待します。しかし足りないことも多く皆様には今後ご心配をおかけすることもあるかと思いますが、何卒よろしく御協力の程、お願い申し上げます。

(寄稿1963.9月上旬)



新体育館にともなうモニュメント 寄贈に感謝をこめて

モニュメント準備委員会

委員長 石川 八重

61年10月20日第7回中京女子大学同窓会におきまして、新体育館完成にともなう記念としてモニュメント、ブロンズ像に決定されて以来、事務局を中心として準備委員会は着々とその歩を進めてまいりました。多くの方々からご厚情とご協力を賜りましたことを深く感謝いたします。

62年7月7日その白亜の殿堂、スポーツサイエンスセンター玄関に、ビギーネの「健康の女神」（高さ1.8メートル、台2メートル）の銅像ブロンズ像の除幕式を挙行いたしました。学長はじめ同窓会役員の手でテープカットされた、心身ともに美しく健康であれと手を天上にさしのべた輝かしい英姿が、参加者の大きな拍手の中に現われたあの瞬間の感激は、心に強く焼きつけられました。このことは終生忘れ得ることはないと思います。この除幕式に際して大学側からの絶大なご援助を頂き、同窓会との深まりを強く感じました。

顧りみますとこの事業を通して最も尊大であったことは、旧高師科、体育科第1回卒業生鶴飼芳子、文子、二姉妹（現関東支部会員、会長吉野トヨ子）を始めとして、大先輩から巣立ったばかりの若い同窓の方々に至るまで、実に多くの人々が母校に関心を寄せられていたことでした。母校での2年、4年間に建学の精神を受けた同志の想いであり、又、未来的展望のもとに各々がスクラムを組んだ貴重な事業となったことです。

尚このブロンズ像がより一層偉大であり荘厳さを与えた「黒鳥」120号の絵画でした。この作品を寄贈されましたのは、昭和14年度卒業生、森本收子（旧姓小林）氏です。女神像の後方に掲げられ、

除幕式の後に披露されました。

森本氏は教職の現役中、生徒の練習中の円盤が顔面に当り、失明近い重傷を負われ、休職そして退職の境遇となられました。しかしその後ご不自由のお身体でありながら人形造り、書道、絵画と多面に精進され、それ等の作品は総て地域のみならず県展示会等でも受賞される優秀な作品ばかりでした。その力作中の1点を寄贈されたのです。水面に静かに波紋を描き、泳ぐ黒鳥は実に力強く、大きく生きようとする姿で、感慨無量の思いが湧き上がる作品です。まさに建学の精進、忍耐、努力あってこそそのものと敬意と誠の心を深く学び受けました。

更には、モニュメント寄贈のための寄付金の趣意書を発送いたしましたところ多方面から激励やご支援を頂き総額3,543,000円が集りました。心から深く感謝申し上げます。ことに関東支部からは、早々に多額の寄付金と心強いお力添えを頂きましたことを皆様に報告し重ねて感謝申し上げます。

以下の写真はモニュメント除幕式のスナップ



(1)



(2)



(4)



(3)



(5)



(6)



(8)

1. 向って右、会長、学長、副会長のテープカット
2. ブロンズ除幕寸前
3. 大勢の拍手に輝くブロンズ像
4. 製作者のプロフィール説明



(7)



(9)

5. 製作者鬼頭先生へ花束贈呈
- 6.7. 森本収子（家体専15年卒）学長より感謝をこめて
- 8.9. 大先輩とブロンズ像の前で感激にひたって

ブロンズ像寄付ご芳名簿

金額	No.	氏名	卒年度	金額	No.	氏名	卒年度	金額	No.	氏名	卒年度
500,000	1	関東支部			15	岡田 由美子	食品栄55		38	入野 智恵子	短体 34
									39	袴田 美智子	短体 34
150,000	1	塩田 蒔子	家事体	10,000	1	山本 正枝	家体専14		40	野尻 奎子	短家 34
					2	野沢 ふさ	家体専17		41	岩田 律子	短体 35
100,000	1	石川 八重	短体 28		3	上田 一	家体専17		42	竹田 千寿子	短体 35
	2	溝口 百合子	短体 30		4	山田 富貴	家体専17		43	寺田 静子	短体 35
	3	高橋 知子	短体 32		5	川本 とし子	家体 18		44	鈴木 悦子	短家 35
	4	木村 ミエ	短家 32		6	水野 つや子	高別 19		45	七里 正子	短体 35
	5	川本 睦子	短体 31		7	筑間 房子	短体 20		46	塚本 洋子	短家 36
	6	岡田 映子	短体 35		8	西尾 澄子	短家 28		47	上永 佐代子	短体 37
	7	矢野 しづい	児童 48		9	天野 弘子	短家 28		48	竹尾 紀代子	短家 37
					10	柳沢 修子	短体 29		49	村瀬 弘子	短家 38
50,000	1	山本 定子	家体専 8		11	笹木 洋子	短体 29		50	糀谷 弘美	短体 39
	2	児島 文	家体専12		12	柘植 美智子	短体 29		51	上尾 香代子	短体 42
	3	山内 リエ	家体専14		13	岩田 久子	短体 30		52	筒井 香	体育 44
	4	吉野 トヨ子	家体専14		14	西山 幸子	短体 30		53	池澤 真由美	体育 44
	5	木和田 福子	家体専18		15	松田 美重子	短体 30		54	田端 千鶴子	体育 45
	6	昭和21年度卒業生一同	家体専21		16	那須 敏子	短体 30		55	長谷川 素子	体育 45
	7	小塚 節江	短家 32		17	上梨 敦子	短体 30		56	中野 澄恵	体育 45
	8	久田 富子	児童 45		18	兼井 敏子	短体 30		57	大塚 俊子	食品栄45
	9	西岡 茂子	食品栄45		19	中村 享	短体 30		58	斉藤 れい子	食品栄45
					20	中西 喜美子	短体 30		59	小田 和子	短家 45
30,000	1	昭和42年度卒業生一同	短体 42		21	伊藤 さち子	短体 30		60	山田 雅	児童 46
	2	加藤 松子	食品栄46		22	近藤 昌代	短体 30		61	竹居 外茂子	食品栄46
					23	塚崎 嘉子	短体 30		62	田熊 れい子	体育 47
20,000	1	昭和15年度卒業生一同	家体専15		24	末村 良子	短体 30		63	森川 美昌枝	体育 47
	2	水野 久	家体専16		25	保正 清子	短体 30		64	中川 るみよ	児童 47
	3	加藤 カナエ	別 17		26	萩本 孝子	短体 30		65	譲 法子	児童 47
	4	角 秀子	別 18		27	松下 多恵子	短家政30		66	中川 泰代	食品栄47
	5	山口 ひな子	高師 19		28	加藤 小夜子	短家政30		67	武田 ミナ子	食品栄48
	6	福江 昭子	短家 28		29	河合 きく	短家政30		68	津坂 とし子	体育 49
	7	田中 貞代	短家 28		30	橋爪 章子	短体 32		69	北 信子	食品栄49
	8	小西 幸子	短体 28		31	江崎 千鶴子	短体 33		70	青木 真理	児童 49
	9	杉本 扶実子	短体 32		32	森 千津子	短体 33		71	青池 美紀	食品栄51
	10	杉野 文子	短体 34		33	坂本 麗子	短体 33		72	永井 美奈子	食品栄51
	11	螺澤 代	短体 35		34	坂倉 ミト子	短体 33		73	星野 節子	食品栄52
	12	片桐 勝子	短体 40		35	辻 久子	短体 33		74	山下 千尋	児童 55
	13	鈴木 智恵美	食品栄52		36	香月 さよ	短体 33		75	浅野 理恵	児童 55
	14	藤原 保美	食品栄55		37	佐藤 はる子	短体 33		76	土井 千秋	短家 55

金額	No	氏名	卒年度	金額	No	氏名	卒年度	金額	No	氏名	卒年度
6,000	77	松浦 ヒロ子	短家 55		17	永井 文江	短家 37		4	安達 幸子	高師別 17
	78	清水 さゆり	体育 57		18	谷口 喜美子	短家 38		5	諏訪 幾久子	高師別 18
	79	山本 貴子	短体 59		19	上野 静	短家 38		6	牧野 泰子	高師別 18
	80	堀口 悦代	食品栄 62		20	阪下 悠紀子	短家 38		7	外池 ゆき子	高師別 19
	1	古閉 ヒサ子	家体専 12		21	大村 能子	短体 41		8	奥野 あさみ	家体専 23
	2	笠岡 トシコ	家体専 13		22	富井 園子	短家 41		9	村上 和子	短家 28
	3	青山 せつ	家体専 23		23	川口 サチ子	短家 41		10	石井 富枝	短体 29
	4	寺村 房子	短体 37		24	坂本 牧子	短家 42		11	近藤 きりの	短家 29
	5	江口 昌代	短家 42		25	井田 圭子	短体 43		12	稲川 晴美	短家 29
	6	河合 洋子	短家 44		26	築瀬 和子	短家 43		13	小森 千世子	短体 29
	7	加藤 聿子	児童 45		27	大江 由記代	短家 43		14	岡田 瞳	短体 30
	8	吉光 美登里	体育 46		28	鈴木 慧通子	大体 43		15	紫原 整子	短家 30
	9	榊原 倫子	体育 54		29	小田島 美重子	大体 43		16	吉田 秀	短体 31
5,000	10	田中 明美	児童 54	30	木村 千代美	大体 44	17	村田 延誉	短体 30		
	11	森田 純子	児童 56	31	中村 節子	児童 44	18	磯谷 洗子	短体 32		
	12	早川 範里子	食品栄 58	32	丹羽 由紀子	児童 45	19	小木曾 典子	短体 32		
	13	田口 恵美	体育 59	33	林 澄子	食品 45	20	藤田 成子	短体 32		
	1	木村 あき子	短家 27	34	中島 琴美	大体 46	21	後藤 以満代	短体 32		
	2	伊藤 紀久枝	短体 37	35	古川 久江	大体 46	22	佐口 雅子	短体 32		
4,000	3	北野 美登志	体育 31	36	楊 慧芳	食品 46	23	田中 千鶴子	短体 32		
	4	大北 喜美子	体育 42	39	服部 ひとみ	大体 47	24	吉田 トシ子	短体 32		
	5	山口 悦枝	体育 52	38	小林 順子	児童 47	25	山内 緋佐子	短家 32		
	6	安井 節子	短体 27	39	東 いつ子	食品 52	26	矢野 絢子	短体 33		
	1	阿部 茂春	家体専 12	40	市川 和子	短家 52	27	山崎 滋子	短体 34		
	2	加藤 千代	家体専 12	41	鈴木 久子	児童 53	28	坂田 和子	短体 34		
2,000	3	本間 絢子	家体専 13	42	橋本 清美	児童 53	29	森部 妙子	短家 34		
	4	横山 砧	体専 14	43	中本 倫子	児童 55	30	宮崎 和子	短家 34		
	5	中野 ふみ子	体専 13	44	玉那覇 久美子	食品 55	31	大田 昌代	短体 35		
	6	森本 取子	家体専 14	45	山下 喜代美	児童 56	32	早川 佳津代	短家 36		
	7	西野 ふみ	高師別 18	46	植木 千鶴	食品 56	33	阿部 睦子	短家 36		
	8	高橋 久子	家体専 22	47	橋本 富子	大体 57	34	篠崎 孝子	短家 36		
	9	中瀬 勝子	家政 28	48	林田 佳里	短体 57	36	長谷 宏子	短家 36		
	10	杉浦 つた	短体 32	49	金児 祥子	短家 57	37	町田 秀子	短体 37		
	11	大塚 茂子	短家 32	50	徳田 恵子	大体 58	38	近藤 千恵	短家 37		
	12	徳井 延子	短体 33	51	藤田 つよみ	大体 59	39	高木 好子	短家 37		
	13	須渕 美代子	短体 35	52	垣岡 幹子	大体 59	40	森 伊佐子	短家 37		
	14	市村 寿美子	短家 35	53	飯田 あゆみ	児童 60	41	近藤 喜代子	短家 37		
	15	近藤 妙子	短体 37	54	戸塚 美紀	短体 60	42	桑名 美沙子	短家 38		
	16	伊藤 恭子	短家 37	1	曾我 千代子	家体専 4	43	大橋 金枝	短家 38		
				2	高橋 斐子	高師別 16	44	深町 幸子	短家 38		
				3	福井 弥寿子	高師別 16	45	荒川 晴美	短家 38		
						46	青木 走子	短家 38			

金額	No.	氏名	卒年度	金額	No.	氏名	卒年度	金額	No.	氏名	卒年度
2,000	47	板倉知子	短家 38	79	五十嵐貴英子	食品 45	111	増田英子	大体 55		
	48	加藤幸子	短家 40	80	林いすず	食品 45	112	伊藤敦子	大体 55		
	49	内藤了子	短家 40	81	外山みな子	短体 46	113	西野美智子	大体 55		
	50	松井幸子	短体 41	82	福江秀子	短体 46	114	林恵子	児童 55		
	51	新川瑞穂	短体 41	83	久野真由美	短家 46	115	永田静	児童 55		
	52	村木和子	短体 42	84	辻田千代美	大体 47	116	森田美香子	大体 56		
	53	澤千代	短体 42	85	上田寛子	大体 47	117	大焚なお美	児童 56		
	54	古川厚子	短体 42	86	高松依子	児童 48	118	掛橋久美	食品 56		
	55	田口美保子	大体 42	87	岩月睦美	児童 48	119	村木元美	短家 56		
	56	成瀬奈美子	短家 42	88	河原崎和代	食品 48	120	山本益美	短家 56		
	57	鈴木みよ子	短家 42	89	内藤雅子	短家 48	121	保坂美穂	児童 57		
	58	浅野さと子	短家 42	90	浜田慶子	大体 49	122	早川規子	大体 58		
	59	浅井静子	短家 42	91	毛受美佐子	短体 49	123	菅沼直子	大体 59		
	60	北野佐保子	短家 42	92	清田昌子	短家 49	124	浅野多紀	大体 59		
	61	伊藤雅子	短家 42	93	広浜利恵	大体 50	125	渥美由香	大体 59		
	62	成原敏子	大体 43	94	鈴木美津子	大体 50	126	塚本妙子	短体 59		
	63	鈴木美代子	食品 43	95	綿谷優子	児童 50	127	古賀恵子	大体 60		
	64	川本啓子	短体 43	96	瀬尾美佐子	短家 50	128	福島由紀子	大体 60		
	65	西村さち子	短体 43	97	富田三枝子	大体 51	129	村井真理	大体 60		
	66	近藤育子	短体 43	98	磯村秀代	短家 51	130	越村友紀子	大体 60		
	67	山中みどり	短体 43	99	富安夏世	児童 52	131	森いづみ	大体 60		
	68	西本町子	短家 43	100	舟橋和子	児童 52	132	保坂真理子	児童 60		
	69	若松一美	短家 43	101	上原順子	児童 52	133	寺田慶子	児童 60		
	70	鶴田智里	児童 44	102	荻原いく弥	児童 52	134	幸喜めぐみ	児童 60		
	71	近藤安恵	食品 44	103	船戸峰子	児童 53	135	百地瑞穂	児童 60		
	72	木暮広美	短家 44	104	矢盛美智子	児童 53	136	川合今日子	大体 60		
	73	田中かづ代	大体 45	105	橋本久代	食品 53	137	岩本和果	短体 60		
	74	西内久美子	大体 45	106	相木さえ子	短家 53	138	尾道幸枝	大体 61		
75	岩村やよい	児童 45	107	岩佐和美	大体 54	139	高山裕子	短体 61			
76	大見幸子	児童 45	108	津村芳子	児童 54	01	伊藤穰子	学政学部			
77	内田陽子	短体 45	109	七川和代	児童 54	02	神尾訓子	食品栄養			
78	藤山佳子	短家 45	110	鈴木典子	短家 54	03	吉田高年	中京女大教員			

おわび

今回のご報告のおくれをお詫び申し上げます。

さて、モニュメントご寄付の予約振込みをいただきましたが、調査いたしました結果、ご芳名欄の通りになりました。予約振込みをされ、記載な

されていらっしゃる方は、誠に恐れ入ります
が事務局宛に申し出ていただきますようお願い申
し上げます。

色々于行届かない事が多く皆さまにご迷惑お
かけたいしておりますことを重ねてお詫び申し上
げます。



卒業後の私

東海福祉専門学校

教頭 兼 子 邦 子

(旧姓 磯部)

(昭和47年度大体系)

中京女子大学体育学部体育学科を卒業以来15年の年月が経過してしまいました。思えば私が4年生の秋、全国女子体育研究大会が愛知で開催される事になり、溝口先生のご指導で学生として全国大会に研究発表をさせていただくチャンスを得ました事は大変光栄な事でした。当時は体育専攻学生は教員(学校)になるしか道がないと言っても過言でない程、誰もがそれを目差していました。今日のように社会体育は普及しておらず、学校体育と社会体育の区別すらつかない学生が殆んどでした。私の発表も社会体育の意識調査と今後の社会体育の在り方がテーマで社会体育指導者養成の必要性を結論づけたものでした。

卒業直後は高校に勤務したものの一身上の理由で退職をし、その時飛込んだのが重症心身障害児施設でした。福祉の「ふ」の字も知らない私が見た初めての世界でした。周囲からは長続きする筈が無いと言われつつ、自分では驚く程自然に溶け込みました。朝6時からの早出、夜中10時までの準夜、夜中10時からの夜勤等複雑な勤務体制の中確かに並大抵ではありませんでしたが純粋な子供達との毎日は暖かくやさしい触れ合いでした。結婚退職後保育所、小学校産休代用教員を経験、53年9月～59年3月まで心身障害児施設にて自閉症の子供の体育療法に打ち込みました。毎日が真剣勝負でした。この子をどうするか、それが課題でした。幼児の為の体力スポーツ能力テスト表も1年がかりで作りました。担当した子供達が小学校卒業の年となり退園していくのを機会に私も現職の東海福祉専門学校教員として勤務する事になりました。今までは障害児の対応をし、現在はその障害児(者)の施設教員を養成する立場に立ち、施設職員はどうあるべきかを学生と共に取り組ん

でおります。福祉の専門家でない私が学んだ事は人と人との触れ合い、自分は今何をなすべきかという事でした。本校では「あたりまえの事をあたりまえにやる人間」「人の3倍動ける人間」「資格の上に思いやり情緒を上乗せして働ける人間」をめざしています。「人間を教育する事は入って来た姿と出ていく時の姿は変わっていなければ教育した事にはならない」という教えの基で、教育する事のむづかしさを痛感しながら、学生と共に就職まで導いていく責任と生きがいを感じています。

また本来の体育教員としての姿を見失わず地元町体育指導委員を8年つとめ、57年には東海スポーツに挑戦し育成士の資格取得、県トリム指導員を経て61年トリムリーダー1級資格も取得、地域の健康づくり推進の為毎日が大変充実しております。また老人ホームへ就職希望の学生の要請でゲートボール審判員資格取得を全学生に挑戦させるべく計画もすすめております。また11月には女子体育研究大会が静岡で開催され、微力ながら役員としてお手伝いさせていただいております。

この機会に諸先輩、後輩の皆様にお目にかかれること、触れ合いを楽しみにしております。

教師の関り方により、その学生の教育への考え方は大きく左右されると考えられます。教師は教え育む事ができなくなったり意欲を失ったら退かねばならないと思っています。それが私の教育信条です。教育の平等とは十人十色のその学生に合った教育をして育むことができこそ言える言葉であると思っています。その時まで一日一日を有意義に勢一杯頑張ってお参ります。

最後に私を今日まで導いて下さいました諸先生方に感謝すると同時に母校中京女子大学の益々のご発展をお祈り申し上げます。

支部会活動状況

関東支部会報告

文責書記 伊藤さち子

(昭和30年度短体卒)

中京女子大学同窓会の関東支部会が発足して、4年になります。第1回の総会は、今は亡き浜田副学長をお迎えして、たった12名の会でした。第2回は60数名。そして、昨年の第3回は、大学から谷岡郁子学長始め、諸先生7名、同窓会本部から高橋知子子会長、副会長2名をお迎えし、会長も70数名が参加しました。第4回の本年は(5月22日)参加者35名でした。毎回参加の人集めに苦勞して居りますが、何名かの新しい会員の参加があることが、会の世話をする者にとって、大変嬉しく励みになります。学んだ時代は異っても、共



学長あいさつ



関東支部総会スナップ

通の話題はつきず、毎回予定時間をオーバーし、三三五五と二次会に繰り出すグループもあるようです。支部会の本部では、吉野トヨ子会長のもとで、すでに来年の準備も始まりました。一番の悩みは名簿作成の件です。会員のご協力を切にお願い致します。最後になりましたが、母校の発展を関東支部会員一同心からお祈りいたしております。

関西支部会発会

昭和62年6月14日、中京女子大学同窓会関西支部結成のご報告をいただきました。

結成のご様子では、体育専攻科の方々が中心に17名参加、大変たのしく有意義な時を過ごされたとのことです。今後は、高等師範科、家事専攻科中京女子大学、短期大学の卒業生を広く呼びかけるための準備を進めることなどが決定。

準備委員として各年度から世話係が次のように決定しました。

- | | | | |
|------|-------|------|-------|
| 15年度 | 山内 リエ | 21年度 | 沢内 貞子 |
| 16年度 | 上辻美代子 | 〃 | 山崎 明子 |
| 19年度 | 山田 逸子 | 〃 | 富田 豊子 |
| 20年度 | 中土 和子 | 24年度 | 奥野あさみ |

若さあふれるたのしい合同同級会

昭和62年8月22日、高知市において、大体44年度卒・短体42年度卒生の合同で同級会を開いたことを連絡いただきました。その中に通信BonJour(ボンジュール)を発行を通して友の近況報告等々を送っていただきました。たのしいご様子を写真でご覧下さい。尚この同級会は2年に一度8月最後日曜日と決定しているようです。

連絡先 高知市北端町37-2
 斉藤美智子(旧姓野本)
 TEL0888-73-3510



大体(昭和44年卒)



短体(昭和42年卒)

梨花女子大学バスケットボール

親善訪問を祝って

昭和63年2月23日、韓国の名門梨花女子大学バスケットボールチームが、本大学を訪問、親善試合が行なわれました。その折、富士見高校教諭・西山幸子先生（昭和30年度短体卒生）が親善にご協力をいただきました。すでに皆さまもご承知のことと思いますが、同窓会ニュースNo.7でお知らせいたしました。先生は、韓国文化部長官賞を受賞され国際親善に尽くされ、今回も、ご多忙にもかかわらず、歓迎のため大学においていただき伊南植体育大学学長以下17名の学生さんたちに流ちょうな韓国語で応対していただき、また静岡の手土

産をご持参、一行に喜んでいただきました。その折同窓会から、ハンカチーフ・フラワーを、西山先生より同窓会を代表してお渡しいただきました。その後、親善試合を観戦。終了後歓迎レセプションでは、韓国の14名の選手の原色で彩られたチマ・チョゴリを着用出席艶やかで美しい光景でした。本学の深見教授指導のもとで、卒業生と食品栄養学科の学生が心こめた手作りのご馳走で出席者一同大変感激されたようです。

心から同窓生の皆様の積極的なご協力に感謝いたします。



野中ともよ女史 公開講座紹介

中京女子大学伊達コミュニケーション研究所では多彩な講義内容で公開講座が開催されております。64年度も更に意欲的に講座が開かれます。ぜひ、一度母校にお顔を出して下さいますようお願い申し上げます。

ひ、一度母校にお顔を出して下さいますようお願い申し上げます。

コミュニケーション研究所 開設記念公開講座 健康科学研究所



お 願 い

あわただしい行事の中で、総会に向け準備をいたしておりますが、総会ご欠席の場合委任状のはがきとニュースを同封して発送いたしておりました。しかし委任状は、発送数の $\frac{1}{2}$ にも満たない状況であり財政の困難な時折、今回はニュースのみにさせていただきますのでご了解下さいませ。また、昨年No.8のニュースの返送が多いことから、住所の把握が困難であり、64年度名簿録(第二版)の発送準備にも頭を痛めております。このことなどをご理解いただき、各学科・学年で同級会を開

催されました折、住所氏名が少しでも判明いたしましたら本部事務局宛にお知らせ下さいますようお願い申し上げます。

事務局の事務整理に63年2月以降太田昌代さん(旧姓加藤)(短体昭和34年度卒)に同窓会の名簿整理等の作業をお手伝いいただいております。卒業生の皆さまの積極的なご協力に感謝いたしています。